

小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	17	施策名	子どもの教育の充実	
小施策コード	17-2	小施策名	幼稚園教育の充実	
小施策 主管課等コード	20500	小施策 主管課等名	学務教職員課	
評価責任者名	久保 智克		内線番号	7320
評価シート作成者名	吉田 清光		内線番号	7321

Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
小中学校学力検査の全国水準 (100) との比較【小学校4年生・国語】	↑	ポイント	110.6	110.4	110.6	113.0	113.0
小中学校学力検査の全国水準 (100) との比較【小学校4年生・算数】	↑	ポイント	108.4	107.4	107.0	110.0	110.0
小中学校学力検査の全国水準 (100) との比較【中学校2年生・国語】	↑	ポイント	103.8	105.0	105.8	107.0	107.0
小中学校学力検査の全国水準 (100) との比較【中学校2年生・数学】	↑	ポイント	102.2	101.4	102.2	105.0	105.0
小中学校学力検査の全国水準 (100) との比較【中学校2年生・英語】	↑	ポイント	103.2	104.2	104.2	105.0	105.0
体力運動能力調査の全国水準 (100) との比較【小学校5年生・男】	↑	ポイント	97.8	99.7	97.8	101.0	101.0
体力運動能力調査の全国水準 (100) との比較【小学校5年生・女】	↑	ポイント	100.5	100.1	99.5	101.0	101.0
体力運動能力調査の全国水準 (100) との比較【中学校2年生・男】	↑	ポイント	100.4	99.9	101.0	102.0	102.0
体力運動能力調査の全国水準 (100) との比較【中学校2年生・女】	↑	ポイント	100.2	100.1	100.0	102.0	102.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）		意図（対象をどのようにしたいのか）
幼児・保護者		健やかな成長が図られる。
現状と課題	子育て相談などの子育て支援，小学校及び地域との連携，保護者のニーズに対応した保育サービスの一層の充実を図る必要がある。	
取組の方向性	生涯にわたる人格形成の基礎を培うため，望ましい幼児教育や教育環境を提供するとともに，保護者への支援に取組む。また，幼稚園と小学校，地域との連携を深める。	

Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
保護者の満足度（市立幼稚園の保護者アンケートによる）	↑	%	85.0	85.0	83.0	100.0	100.0

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標，→：数値を維持することを目標とする指標）

Step 4 市民ニーズの把握

市立幼稚園が保護者を対象に実施している「園の教育についてのアンケート調査」の回答率は約90%であり，本市が目指す幼稚園教育の充実に対する保護者の関心は高いものがある。

Step 5 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率（%）
各主体の 役割の状況	市	望ましい幼児教育や教育環境を提供するとともに，保護者への支援を行う。	70
	国・県・ 他自治体	低所得世帯の保護者負担の軽減を図り，すべての園児に等しく支援が行われるよう環境整備を図る。	30
	市民・ NPO		
	企業・ その他		

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- ☐ 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- ☒ 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- ☐ 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

市立幼稚園の自主的運営，教育環境を向上させるために市の役割が必要であること，また，私立幼稚園に対し補助金を交付し，保護者負担の軽減を図っており，今後とも幼稚園教育における市の役割は重要であることから，現状維持とするもの。

Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

児童理解に基づく個の特性に応じた指導や，幼稚園からの情報発信など教育環境の一層の充実に向けた施策の推進。

2 1の改革改善案の実施状況

（A：着手済，B：平成29年度に着手（予定含む），C：未着手または見送り）

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
個の特性に応じた指導や幼稚園からの情報発信	性格や長所等を把握して子どもを指導するとともに，園だよりやクラスだよりなどで，園の情報を発信した。	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合，その原因

Step 7 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

園児に安心して幼稚園教育を受けさせることができた。

(2) 成果をあげた要因

- ・ 毎日の遊びや生活の中で，児童ができるようになったことを褒めたり，認めたりすることなど，一人一人の児童に寄り添った指導を継続してきたこと。
- ・ 市立各園の要望にあった適切な予算配分を行ったこと，また，私立幼稚園が保育料等の減免を行うことで家庭の経済的負担が軽減することができた。

(3) さらなる成果向上に向けた課題（課題がある場合に記載）

児童理解に基づく個の特性に応じた指導や，幼稚園からの情報発信など教育環境の一層の充実に向けた施策の推進が求められている。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

引き続き、園児に安心して幼稚園教育を受けさせるための環境づくりが必要である。

(2) 現状の問題点が生じている原因

児童理解に基づく個の特性に応じた指導や、小学校6年間を見通したきめ細かな取組が求められている。

(3) 分析した原因の解決に向けた課題

幼小連携を意識した取組を進めていくことが求められる。

Step8 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

2 1で記載した事業についてその理由

3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

Step9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 引き続き、一人一人の子どもの性格や長所等を把握して、きめ細かな幼児教育を提供するとともに、園だよりやクラスだよりなどにより、情報発信を図る。
- ・ 幼小連携を意識した取組を進めていくこと。